

「クロモジ」は「黒文字」

NPO 法人もりふれ倶楽部理事 池田友紀

クロモジ (*Lindera umbellata*) はクスノキ科クロモジ属に属し、ヒメクロモジ (*L. umbellata* var. *lancea*) やオオバクロモジ (*L. umbellata* ssp. *membranacea*) など類似種や変種も多いですが、ここでは“クロモジ”として総称します。

クロモジは漢字で書くと「黒文字」と表記され、原色牧野植物大図鑑において名の由来は「樹皮のはん紋を文字になぞって黒文字という。」とされています。

が、これがどうも腑に落ちない……。私がこれまで実際に見てきたクロモジは、たしかに模様はあるけれど、とうてい文字をつづったようには見えないし、黒色、茶色、白色と、はん紋の色もさまざまなのです。



出典：<http://blog.goo.ne.jp/utyucosmos/e/92b8c39d771a0ec482947f792d812fef>

これを良い機会と、改めて調べてみますと深津正・小林義雄著「木の名の由来」には、まったく異なる由来が挙げられています。

クロモジは“クロキ”とも称され、また、昔から爪楊枝に利用されていました。黒木の楊枝の意味で、「黒楊枝」と称されていたそうです。この黒楊枝を宮中で使用する場合、その語の一部に“もじ”を付け加えて用いた文字詞（例えば、杓子 しゃもじ、髪の毛 かもじ、お目にかかる おめもじ、など）に言い替えられ、黒楊枝の“くろ”に“もじ”をつけて“くろもじ”と称し、この“くろもじ”がそのまま木の名前になった、とされています。

この由来のほうが、ストン、と腑に落ち、「なるほどな〜。」と納得いくので、私個人はこちらの由來說を支持しますが、みなさんはいかがでしょう？

これまで見聞きしてきた各種の書籍やインターネットなどで調べてみても「樹皮の黒色の斑点を文字になぞらえたもの」という由來說ばかりのため、世間一般にはこの説が浸透し、受け入れられているので決して間違いではないのでしょうか。ただ、図鑑等で表記されていることは絶対正しい！と思いつくのではなく、自分自身でその対象物をよく観察して、疑問に思うことがあればまたさらに調べ、自分なりの答えを見つけることも大事ではないかと思えます。

さて、クロモジといえばその芳香がなんといっても最大の特徴です。観察会などでその香りを紹介することも多いかと思えます。そして、その香りは誰にも好まれ、私もこれまで紹介してきたなかで「くさい」という人や、「嫌い」などという方には会ったことがありません。この香りの成分はリナロール、ゲラニオール、テルピネオールなどの精油成分で、殺菌作用やリラックス効果があるとされています。

この特徴を生かし、エッセンシャルオイルとして商品化している地域もあるほか、島根県では隠岐の島の海士町でこのクロモジを使った「福来茶(ふくぎちゃ)」を特産品として販売しています。葉と小枝を細かく切って煮出せば、自前のクロモジ茶もできますので、手近な所にクロモジのある方は、お試してください。胃腸の病気に効果があるとされ、漢方では「烏樟(うしょう)」という名で取り扱われ、養命酒にも配合されています。



出典：http://amalife.net/fukugi_tea/temp.html

こうした香りに関したものの以外では、クロモジは昔から猟師のあいだで重宝されてきました。かつては狩猟を生業としている専門の猟師もあり、冬の猟期期間は一日たりとも無駄にはできないため、山で何日も過ごすこともありました。山中で泊まる場合、たとえ雪の中でも火をおこさなければならぬため、濡れていても確実に火がつく木が必要です。そこで使われたのが、クロモジです。

クロモジの樹皮にはその芳香のもとである精油、すなわち油分が多く含まれており、火付けの小枝にぴったりなのです。触っただけではわかりませんが、火であぶってみると、油分がじわじわと浮き出てくるのがわかります。引火性が良いのはもちろんですが、そもそも樹皮が油分で覆われているため、雨や雪でも材まで濡れることがないのです。こうして、山でたき火をする際はクロモジを用いるという知恵は、現在の猟師の間でも受け継がれています。

そのほか、現在では見なくなりましたが（昭和 50 年代生まれの私は見たことがありません）炭俵のふたの部分に詰め物として使われていた、という記録もあります。地域によってはその詰め物はスギ葉であったり、リョウブの小枝であったりしたそうですが、もしやこれは、炭火をおこす際の焚き付けに適した素材を用いていたのでは・・・？とも思えます。「自分の家にあった炭俵の詰め物は だったよ〜。」など、ご存知の方がいましたら、ぜひご教示ください。

こうして身近な日用品に使われることの多かったクロモジは、九州から北海道の一部まで広く自生しており、県内でも中山間地域では普通に見ることができます。半日陰を好む下層低木なので、伐採を繰り返した二次林などに多く自生し、手入れの行き届いていない暗い人工林などでは生息できず、生息地の減少により福岡県、徳島県、香川県では絶滅危惧種に指定されています。

クロモジの生息環境を維持していくためには、人による森の手入れが必要であるということであり、逆に林内でクロモジを見かけることがあれば、「お、ここは手入れがされているいい森だな。」という指標にもなります。今後、クロモジを見かけることがありましたら、ぜひ、その周り全体の森林環境にも注目してみてください。

～クロモジの花～



雄花



雌花

クロモジは、雌雄異株です。来春、雄花と雌花の違いも観察してみたいと思います。

平成28年度 もりふれ倶楽部の歩み

7月2日(土) 森林ボランティア(江津東小)

江津市立江津東小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、枯損木の除伐と片付けを行いました。

メンバー 野田真幹、中村正志、穂井田頼、豊田真樹子



7月3日(日) 第3回里山自然塾

第3回里山自然塾「竹は友達! 竹紙づくりとキャンプ利用!」を参加者30名で実施させていただきました。

講師 野田真幹、池田友紀、藤原人美

7月4日(月) み~もスクール 第1回 布部小学校

安来市立布部小学校において、第1回み~もスクールを開講しました。1~2年生5名に対して、島根県森林インストラクターの中村正志氏等により、学校林にて樹木学習を行い、押し葉を使った「葉っぱアート」の指導も行いました。

指導 中村正志、藤原人美



7月6日(水) 島根県立出雲商業高等学校対応

島根県立出雲商業高等学校において、商業美術科の3年生14名に対して、森の話と学校林整備へ向けて育成する実生苗の生長のための下刈りの指導を行いました。指導 野田真幹、中村正志、安松宗徳(島根県職員)

7月8日(金) 日本林業技士会島根県支部総会、研修会

日本林業技士会島根県支部(事務局NPO法人もりふれ倶楽部)の総会研修会を、林業会館5階で行いました。今回は、雑誌の林業新知識への執筆等で著名な藤森隆郎先生を講師にお迎えして、現代における長伐期施業の重要性について、休憩をはさみ2時間にわたりご講演いただきました。50名以上の参加者がありました。



7月10日(日) 森林ボランティア(宍道総合公園)

松江市宍道総合公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、駐車場周辺の草刈りを行いました。

メンバー 野田真幹、中村正志、三枝綱一、安達宏史、野々村俊成、佐々木昌彦、滝川麻衣、高濱徹

7月13日(水) み~もスクール 第1回 松江市立母衣小学校

松江市立母衣小学校5年生63名に対して、第1回み~もスクールとして、「森林保全の大切さ」の講義と間伐材を使った「フクロウのキーホルダーづくり」の指導を行いました。2クラスが、2種類のコースを交代で受講しました。

指導 野田真幹、竹田正彦、中村正志、藤原人美



7月14日(木)み~もサマースクール(ちどりっ子)

島根県み~もサマースクールの一環として、ちどりっ子(生馬小学校、法吉小学校、城北小学校、内中原小学校)児童35名、先生14名対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフトづくり等の指導をおこないました。

指導 中村正志、野々村俊成、戸谷広子、森下美津子、福岡茂明、妹尾明美
大峠百代、内田百合子、遠藤和則、遠藤訓子、藤原人美



7月16日(土)森林ボランティア(赤屋小学校)

安来市立赤屋小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹の除伐を行いました。

メンバー 野田真幹、中村正志、別木健一、野々村俊成、滝川麻衣

7月17日(日)第4回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第4回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

7月18日(月・祝)森林ボランティア(出雲郷保育園うぐいす山)

松江市出雲郷保育園うぐいす山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、地拵えを行いました。

メンバー 野田真幹、野々村俊成、中村正志、滝川麻衣、石倉一郎、安達宏史



7月23日(土)森林ボランティア(果樹の森他)

森林公園内(果樹の森他)において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、苗木の下刈りを行いました。

メンバー 中村正志、野々村俊成、別木健一、三枝綱一、内田百合子
青木宜雄、宇矢弘、滝川麻衣

7月23日(土)飯南町研修

飯南町主催の「作業路づくり研修」の企画・運営を行いました。講師には、日本を代表する自伐林家で作業路づくりの名人橋本光治氏を迎えました。

コーディネイト 野田真幹 講師 橋本光治 スタッフ 服部恵子



7月24日(日)森林ボランティア(布部小学校)

安来市立布部小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備を行いました。

メンバー 野田真幹、別木健一、安達宏史、野々村俊成、中村正志

7月29日(金)松江市松原保育園対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された、松江市松原保育園年長7人、引率者3人に対して、木切れ工作、森の大切さの話、自然散策の指導を行いました。

指導 福岡茂明、宮崎徳子





7月31日(日) 森林ボランティア(布部小学校)

安来市立布部小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備を行いました。

メンバー 野田真幹、中村正志、別木健一、滝川麻衣、石倉一郎

8月4日(木) 宍道子育て支援センター対応

宍道子育て支援センター宍道子育て支援センター主催、子育て支援の為に講座として、親子9組26人にヒノキの和紙づくりの指導と、みーもくんの冒険の紙芝居をしました。指導 内田百合子、野田あや子、宮崎徳子



8月4日(木) 島根県立松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校総合学科2年生、3年生14名に対して、「森林・林業体験研修」として飯南町来島公民館で「森の話」をした後、下来島林地でネイチャーゲーム体験、飯南町松江農林演習林で「伐木・造材体験」の指導を行いました。指導 野々村俊成、中村正志、滝川麻衣、野田真幹、藤原人美

8月7日(日) 第4回里山自然塾

第4回里山自然塾～里山素材の木工教室～サクラの枝でミニチュアチェアづくりを開催しました。参加者20名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏の指導で、サクラの枝を使ってミニチュアチェアを作りました。

講師 中村正志、池田友紀 スタッフ 向田望人(島根県職員)



8月8日(月)～9日(火) 島根県緑の少年団活動発表大会及び交流集会对応

島根県緑の少年団連盟主催の「島根県緑の少年団活動発表大会」において、参加者約40名に対して、活動発表やキャンプファイヤー運営のサポートの他、間伐材のフクロウのキーホルダー作りや、ネイチャーゲームと自然観察の指導を行いました。

応援スタッフ 野田真幹、野々村俊成、中村正志、竹田正彦、福岡茂明、池田友、藤原人美



8月10日(水) 奥出雲農村環境改善センター主催行事対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された、奥出雲町農村環境改善センター主催、子どもの体験活動19人に対して、森、樹木、水の話をした後、木のチップや木の実を使った工作の指導を行いました。

指導 野々村俊成、野田あや子、藤原人美



8月11日(木・祝) 出雲西高等学校インターアクトクラブ対応

出雲西高等学校において、インターアクトクラブ10名に対し、間伐の大切さの講義と間伐材の和紙作りの指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、藤原人美、宮崎徳子

8月20日(土)第5回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第5回大人のための自然観察会を開催しました。 指導 中村正志

8月20日(土)森林ボランティア(江津東小)

江津市立江津東小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下刈りを行いました。

メンバー 野田真幹、野々村俊成、豊田真樹子



8月21日(日)県民の森 第2回 里山憩い講座

県民の森 第2回 里山の憩い講座 夏の工作「木の実で作る動物の掲示板」作りを実施しました。

指導 野々村俊成、中村正志、池田友紀



9月2日(金)みーもサマースクール(にじの会)

島根県みーもサマースクールの一環として、にじの会(大庭小学校、竹矢小学校、八雲小学校)児童27名、先生10名に対して、森林散策・飾り炭づくり・たき火クッキーづくり・ネイチャークラフトづくり等の指導をおこないました。

指導 中村正志、野々村俊成、森下美津子、福岡茂明、妹尾明美、大峠百代、内田百合子、藤原人美



9月4日(日)第5回里山自然塾

第5回里山自然塾「竹焼き米粉ケーキと間伐した森に生える恵みの樹木クロモジを楽しむ!」を参加者22名で実施させていただきました。

講師 野田真幹、中村正志、池田友紀、藤原人美

スタッフ 安松宗徳(島根県職員) 向田望人(島根県職員)

9月7日(水)森林ボランティア(西小)

雲南市立西小学校いわくまの森において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、竹林整備遊歩道と広場整備を行いました。

メンバー 野田真幹、野々村俊成、長野和秀、安達宏史、橋本守庸



9月8日(木)出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において、環境福祉コース3年生37名に対して、環境の授業の中で、森林保全のまとめの講義と竹細工「バランストンボ」の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、宮崎徳子

9月10日(土)~11日(日)島根県森林インストラクター養成講座対応

しまね森林活動サポートセンター主催の「島根県森林インストラクター・スキルアップ研修・原始和紙づくり」の企画・運営をサポートさせていただきました。

講師 佐藤仁志、野田真幹、中村正志





9月11日(日) やすぎ環境フェア対応

安来市和鋼博物館を会場に、「やすぎ環境フェア」が開催され、もりふれ倶楽部も「木の実工作」を通して、身近な里山や森林の大切さを考えてもらうコーナーを出展しました。

指導 野々村俊成、森下美津子、野田あや子、宮崎徳子

9月14日(水) しまね森づくり Kommission 出前講座 17 (邑智中学校)

美郷町立邑智中学校 1年生 22名に対して、「森林保全の大切さ」の講義を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



9月17日(土) 第6回 大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第6回 大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志



9月18日(日) 県民の森 第3回 里山憩い講座

県民の森 第3回 里山の憩い講座「秋の自然の恵みでおいしい憩いの1日を過ごす」を実施しました。

指導 野田真幹、中村正志、池田友紀、藤原人美



9月20日(火) みーもスクール 第2回 西小学校

雲南市立西小学校 4年生 32名に対して、第2回 みーもスクールとして「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、戸谷広子、森下美津子、伊藤志美恵、服部恵子、藤原人美
安松宗徳(島根県職員) 向田望人(島根県職員)



9月24日(土) 樹木診断講座

松江市公園緑地課と共同主催で、松江市楽山公園において、樹木診断講座を開催しました。公園内を散策して、樹木医の方たちから、樹木診断法や樹勢回復方法を教わりました。

講師 佐藤仁志他

9月25日(日) 江津市主催行事対応

森林整備体験・バームクーヘン作り等、江津市主催行事の企画・運営を行いました。

指導 野田真幹、藤原人美



9月25日(日) しまね WOOD フェア 2016 対応

松江市のくにびきメッセを会場に開催された(一社)島根県木材協会主催の「しまね WOOD フェア 2016」において、木や森に興味を持ってもらうように木の实を使った工作のコーナーを出展しました。

指導 内田百合子、妹尾明美、野田あや子、伊藤志美恵、宮崎徳子

9月27日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 18 (亀嵩小学校)

奥出雲町立亀嵩小学校全校児童41名と保護者に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を、旧奥出雲町立高田小学校において行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、池田友紀、宮崎徳子
安松宗徳(島根県職員) 向田望人(島根県職員)



9月28日(水)安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校3,4年生7名に対して、2,3時間目に学校周辺と学校林内でネイチャートレイルングを行い、4時間目は竹についての学習の後、竹工作「ガリガリプロペラ」の指導をおこないました。この事業は国土緑化推進機構「緑の少年団活動推進事業」です。

指導 中村正志、野々村俊成、池田友紀、藤原人美

9月30日(金)しまね森づくり Kommission 出前講座 19 (福井小学校)

海士町立福井小学校全校児童50名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、深谷治



10月1日(土)第7回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第7回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志



10月2日(日)第6回里山自然塾

「第6回里山自然塾～秋の里山でキノコ狩り!～」を開催しました。参加者33名は、3班に分かれ、園内の3ブロックで、それぞれキノコ探しを行いました。学習室に戻ると、各班内で相談しながら、図鑑を使って自主鑑定を行いました。その後、講師の平佐さん、富川さん、宮崎さんからレクチャーを受け、自主鑑定の結果を確認してもらいました。食べられるキノコは、キノコ汁にしておいしくいただきました。

講師 平佐隆文、富川康之、宮崎恵子 フタッフ野田真幹、中村正志、藤原人美、向田望人(島根県職員)

10月4日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 20 (乙立小学校)

出雲市立乙立小学校において、全校児童30名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子、米原久人(松江市職員) 松本瑠美子(松江市職員)



10月4日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 21 (宍道小学校)

松江市立宍道小学校5年生64名に対して「森の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

指導 野田真幹、福岡茂明、藤原人美、宮崎徳子

米原久人(松江市職員) 松本瑠美子(松江市職員)

10月6日(金)松江市市民大学対応

ふるさと森林公園学習展示館において、松江市市民大学いきいき健康コース受講生50名に対して、2班に分かれて「自然体験と心の健康」(ネイチャーゲームリーダー野田真幹氏)と「里山に抱かれて」(鳥根県森林インストラクター野々村俊成氏)の話を交代で行いました。講師 野田真幹、野々村俊成



10月7日(金)しまね森づくり Kommission 出前講座 22 (戸田小学校)

益田市立戸田小学校において、5年生14名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 野田真幹、高濱実樹恵



10月10日(月・祝)森林ボランティア(来島小)

飯南町立来島小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、広葉樹林部分の下刈りを行いました。

メンバー 野田真幹、別木健一、橋本守庸、安達宏史、池田友紀

10月12日(水)み~もスクール 第1回 高山小学校

大田市立高山小学校において、第1回み~もスクールを開講しました。今回の対象3~4年生12名に対して、鳥根県森林インストラクターの中村正志氏・福岡茂明氏・藤原人美氏の指導により、高山小学校の学校林である「緑の道」でネイチャートレッキングとその回答をしながら樹木学習を行いました。指導 中村正志、福岡茂明、藤原人美



10月12日(水)鳥根県立出雲農林高等学校対応

飯南町来島の山林において、鳥根県立出雲農林高等学校環境科学科1年生40名に対して、「森林・林業体験」として、「森林の大切さ」の講義と「間伐体験」「集材体験」の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、響繁則、陶澤眞一、景山栄一、宮崎徳子

10月15日(土)森林ボランティア(来島小学校)

飯南町立来島小学校学校林において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、間伐、枝打ちホダ木用木伐採を行いました。

メンバー 野田真幹、中村正志、池田友紀



10月16日(日)森林ボランティア(楽山公園)

松江市楽山公園において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、松江環境市民会議のメンバーと竹の整備を行いました。作業後は、竹焼き米粉ケーキを頂きました。

メンバー 別木健一、竹田正彦、狩野正二、中村正志、野々村俊成、長野和秀、安達宏史

10月16日(日)中国電力対応

ふるさと森林公園において、中国電力主催、「森林イベント」の企画運営をさせていただきました。

スタッフ 野田真幹、野々村俊成、中村正志、内田百合子、池田友紀、藤原人美



10月20日(木)しまね森づくり Kommission 出前講座 23 (高山小学校)

大田市立高山小学校において、5,6年生9名に対して、「森林保全の大切さ」の話と、間伐・枝打ち等の森林整備体験の指導を行いました。

指導 野田真幹、野々村俊成、宮崎徳子

10月21日(金)しまね森づくり Kommission 出前講座 24 (寺領小学校)

雲南市立寺領小学校において、1,2年生22名に対して、「森林保全の大切さ」の話と「木切れ工作」の指導、3,4年生16名に「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り」の指導を行いました。

指導 野田真幹、宮崎徳子



10月22日(土)森林ボランティア(うぐいす山)

松江市出雲郷保育園うぐいす山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、地拵えを行いました。常緑樹を切り、落葉樹を残すように仕立てて、夏は涼しく、冬は明るい森林へと転換することも目的としました。

メンバー 野田真幹、中村正志、野々村俊成、安達宏史、滝川麻衣、石倉一郎



10月23日(日)宍道町佐々布下子供会対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された、宍道町佐々布下地区子ども会親子23人に対して、竹工作(ガリガリプロペラ、竹トンボ)の指導を行いました。

指導 野々村俊成、遠藤和則、伊藤志美恵

10月23日(日)第2回「楽山公園再生」イベント

松江市公園緑地課の委託事業の中で、第2回「楽山公園再生」普及啓発事業を実施しました。参加者21名は、2班に分かれ、竹が整備されすっきりとした楽山公園で自然観察会を行い、駐車場付近の広場では、竹細工の広場を交替で楽しみました。最後には、無煙炭化器で焼いた究極の焼き芋を味わいました。

指導 野田真幹、中村正志、長野和秀、福岡茂明、池田友紀、宮崎徳子



10月24日(月)みーもスクール 第3回 西小学校

雲南市立西小学校4年生32名に対して、第3回みーもスクールとして、「学校林で間伐、枝打ち体験」を実施しました。

指導 野田真幹、中村正志、野々村俊成、福岡茂明、藤原人美、宮崎徳子

10月25日(火)しまね森づくり Kommission 出前講座 25 (江津東小学校)

江津市立江津東小学校において、4年生21名に対して、「森林保全の大切さ」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



平成28年度みーもサマースクール（飯南町編）報告

みーもサマースクールは、島根県の「水と緑の森づくり事業」の一環として、県内の子どもたちに森に親しんでもらおうと実施されている事業です。昨年に引き続き今年度も、もりふれ倶楽部では東部において25団体を対象に、島根県県民の森で実施しました。

毎年好評を得て、受付団体数を大幅に超える申し込みがあるのもひとえに、指導者である森林インストラクター等、個々のスタッフの活躍によるものです。この場をお借りして、ご協力いただきましたみなさまにお礼申し上げます。

■ 指導していただいたもりふれ倶楽部会員のみなさま（敬称略）

竹田正彦、内田百合子、福岡茂明、中村正志、近藤純子、服部恵子

■ 平成28年度 みーもサマースクール 実績一覧（東部）

No	参加日	団体名	所在地	参加人数(実績)		
				子ども	大人	計
1	7/1	ほくよう保育園	出雲市	23	3	26
2	7/11	一の谷保育園	出雲市	20	3	23
3	7/13	たけかや保育園	松江市	16	2	18
4	7/15	なかの保育園	出雲市	23	3	26
5	7/22	加茂児童クラブ	雲南市	36	3	39
6	7/25	さとがた保育園学童クラブ	出雲市	25	2	27
7	7/26	ひかり児童クラブ	出雲市	28	4	32
8	7/27	北陽第2こどもクラブ	出雲市	34	4	38
9	7/29	ひまわり児童クラブ	出雲市	27	4	31
10	8/1	ひかわスポーツ夢クラブ	出雲市	18	1	19
11	8/2	国富あおぞら児童クラブ	出雲市	33	6	39
12	8/3	学童保育施設ウィズキッズ東本町校	松江市	21	2	23
13	8/4	わらべのうち保育園	出雲市	22	5	27
14	8/5	高浜児童クラブ	出雲市	22	4	26
15	8/10	うしお児童クラブ	雲南市	30	6	36
16	8/12	鍋山放課後子ども教室	雲南市	23	9	32
17	8/17	学童保育みつきっこクラブ	松江市	26	4	30
18	8/18	学童保育施設ウィズキッズ城北校	松江市	15	2	17
19	8/19	荘原保育園	出雲市	17	4	21
20	8/22	塩谷第4学童クラブ	出雲市	27	6	33
21	8/23	城北児童クラブ	松江市	28	5	33
22	8/24	安田っ子クラブ	安来市	25	4	29
23	8/25	逢堪児童クラブ	出雲市	16	4	20
24	8/26	塩谷第1学童クラブ	出雲市	39	4	43
25	10/21	サンチャイルド長久さわらび園	大田市	20	4	24
合計				712		

■ 参加者からの感想

子どもの生き生きした姿、生きものを探す真剣さが見られ、とても良い経験でした。フクロウの工作はちゃんとお話を聞いて作り上げる喜び、出来上がったうれしさがありました。指導にあたってくださったスタッフが身近で親しみやすく、とても良かったです。



バスの中での解説、森林での活動、自然工作すべてに森林インストラクターの方の工夫が見られ、興味深く楽しかったし、勉強になりました。



楽しい経験をさせていただきながら、森や川に興味をもてました。森林インストラクターの方々が親切に教えてくださり、安心して活動することができました。



児童クラブにとって初めての経験で、とても良い経験となりました。自然に親しみ、自然を愛したいと思う種を子どもたちにまいてくださったと思います。子どもたちの自然の中での笑顔は、平素とは明らかに違う輝きを放っていました。



もりふれ倶楽部今後の予定 2017 1月～3月

1月8日(日) 10時～15時 第9回 里山自然塾「春の七草と新春ヒノキ和紙づくり」

参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～弁当(おかず)・飲み物 定員25名

定番となりましたが、やはり七草です。今年は、ヒノキの和紙で朶も作ります！

1月8日(日) 15時～16時45分 ふるさと森林公園自然観察会

参加者募集中：参加費100円

1月8日(日) 17時 ふるさと森林公園クラブハウス付近

とんどさん 参加無料

1月8日(日) 18時 もりふれ倶楽部新年会(会員限定) ふるさと森林公園学習展示館

参加費：5,000円(宿泊込) 宿泊無し 3,000円

女性会員は、今年は大きく参加費3千円引きとさせていただきます。

1月9日(祝・月) 9時～15時 会員限定研修会(午後コースの最後まで研修にご参加の方に燻製を

お土産にプレゼントします。尚、途中で帰られる

方には、申し訳ないですが差し上げられませんの

で、ご了承ください。)

参加費：全コース無料

午前コース 9時～11時30分 午後コース 12時30分～15時

研修コース1．燻製職人弟子入りコース(このコースは、記載時間より早いスタートとなります。)指導：野々村俊成、竹田正彦 注．このコースは終日参加のみ

2．気分一新薪割りコース～薪はもりふれ倶楽部に寄付願います。

指導：中村正志 午前コース・午後コース

このコースに参加の方全員に、シイタケまたはナメタケのホダ木を1本プレゼント！

3．ネイチャーガイド池田友紀さんと冬の自然を学ぶコース

指導：池田友紀 午前コース・午後コース

4．藤原人美さんと竹焼き米粉ケーキを作ろう！ 午後コースのみ

指導：藤原人美

昼食は、カレーライスを用意します。(会員限定、無料)

最後は、15時からお茶会をして、15時30分解散とします

1月14日(土) 10時～12時 楽山公園散策会～だいが明るくなった遊歩道を散策(ガイド付き)

参加者募集中：参加費無料 集合：テニスコート下駐車場

1月14日(土) 18時～20時 講演会「地球温暖化と災害に強い森林づくり」講師 田中賢治氏

参加者募集中：会場 ゆきみーる(大田市大田町) 参加費無料 定員30名

このイベントは、090-6402-5242 銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会 伊藤様へ直接お申込みください。

1月15日(日) 10時～12時 田中賢治氏による「災害に強い森林づくり」現地調査会

参加者募集中：会場 大田市大田町城山林地 参加無料 定員30名

このイベントは、090-6402-5242 銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会 伊藤様へ直

接お申込みください。

1月28日(土)~29日(日)両日とも9時30分~15時30分 日本屈指のチェーンソー指導者集団「Sジット」の総帥、石垣正喜氏による「チェーンソー安全技術」研修会

参加者募集中：参加費500円 参加資格 全日程参加可能な方 会場 旧富山小学校 大田市富山町
このイベントは、090-6402-5242 銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会 伊藤様へ直接お申込みください。

1月28日(土)18時~20時 講演会「伐木造材のチェーンソーワーク」講師 石垣正喜氏

参加者募集中：会場 ゆきみーる(大田市大田町) 参加費無料 定員30名

このイベントは、090-6402-5242 銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会 伊藤様へ直接お申込みください。

2月12日(日)10時~15時 第10回 里山自然塾「昔ながらの和口ウソクづくりをやりませんか」

参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~飲み物・昼食 定員20名(申し込み順)

2月18日(土)~19日(日) 島根県森林インストラクター・森林サポータースキルアップ研修

参加者募集中：参加費 5,000円程度(宿泊食事懇親会込) 会場：江津少年自然の家

内容：森林で楽しむ「食」イベントのヒント~燻製、竹筒でつくる海ご飯・山ご飯、熾火で調理

講師：5年継続した人気講座「さくらおろちの食べごと塾」コーディネイター 野田真幹

12年継続人気講座「里山自然塾」講師の中から食イベントの達人 野々村俊成、中村正志

プログラム

初日 13:30 オリエンテーション 野田真幹

13:30 簡易燻製教室 講師：野々村俊成

途中の空き時間 ワンポイント樹木観察 講師：中村正志

ネイチャーゲーム 講師：野田真幹

17:00 夕食休憩

19:00 座学：里山の食を考える 「食べごと塾、最初の2年間」 講師：野田真幹

20:00 燻製の試食と意見交換会

2日目 8:30 竹筒で冬の「海ご飯・山ご飯」づくり

熾火で「鶏の塩麹漬け」と「ジャガイモ」をホイル焼きにする

奥出雲の郷土料理「ご汁」をつくる

講師：野田真幹・野々村俊成・中村正志+補助者：藤原人美

13:30 「食」イベント実施に関する注意事項 講師：野田真幹

14:00 「食」イベントに関するグループ討論 15:00 終了・解散

もりふれ倶楽部の会員は、島根県森林インストラクターでなくとも参加できます。ご希望の方は、もりふれ倶楽部事務局を通してお申込み下さい。島根県森林インストラクターの方は、直接しまね森林活動サポートセンターへお申込みいただいても、もりふれ倶楽部へお申込みいただいてもかまいません。

2月25日(土)10時~15時「よみがえる島根の食事・里山食べごと塾」第2回目 出雲平野編

語り伝えられた「島根の食事」のレシピから、現代にその料理をよみがえらせ、その背景や歴史・文化を思い起こし、そこに秘められた工夫や生きる知恵に触れ、「食べること」の大切さを楽しみながら再認識してみましよう。調理指導は、5年間続いたさくらおろち湖周辺地域での体験イベント「さくらおろちの食べごと塾」でレギュラー講師として活躍した「食の森林インストラクター？」藤原人美氏です。

会場：ふるさと森林公園学習展示館

参加者募集中：定員20名 参加費1,000円(昼食・おやつ付き)

2月26日(日)9時30分~11時30分 ふるさと森林公園自然観察会

参加者募集中：参加費1000円

3月4日(土)10時~15時「よみがえる島根の食事・里山食べごと塾」第3回目 奥出雲編

会場：ふるさと森林公園学習展示館

参加者募集中：定員20名 参加費1,000円(昼食・おやつ付き)

3月5日(日)10時~15時

第11回 里山自然塾「燻製・ドラム缶窯ピザから小さな里山バイオマス循環を考える」

参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物~飲み物・昼食 定員25名(申し込み順)

3月18日(土)9時30分~11時30分 ふるさと森林公園自然観察会

参加者募集中：参加費1000円

3月19日(日)10時~15時「よみがえる島根の食事・里山食べごと塾」第4回目 石見山間地編

国民的漫画「美味しんぼ」登場の村上巴さんが匹見から来られます！

会場：ふるさと森林公園学習展示館

参加者募集中：定員20名 参加費1,000円(昼食・おやつ付き)

イベントのお申込みお問い合わせは下記へお願いします。

NPO法人もりふれ倶楽部通信 NO.50

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

[メール morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

[ホームページ http://www.morifure.jp/](http://www.morifure.jp/)